

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社フィールズ

②施設・事業所情報

名称：おはよう保育園花咲町	種別：認可保育所
代表者氏名：吉川 淳美	定員（利用人数）： 58名（利用人数 56名）
所在地：〒220-0022 横浜市西区花咲町六丁目143番 横浜MIDベースアネックス4階	
TEL：045-334-7368	
ホームページ：http://www.ttkids.co.jp/index.html	
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2018年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：東京建物キッズ株式会社	
職員数	常勤職員： 11名 非常勤職員： 6名
専門職員	（専門職の名称） 名 非常勤保育士：6名
	園長：1名
	常勤保育士：10名
施設・設備の概要	（居室数）クラス室：2室（0・1歳児室と2～5歳児室） 調理室・厨房：1室 事務室：1室
	（設備等）子供用トイレ2室・職員用トイレ1室、調乳室、休憩室、廊下、洗濯機室など

③理念・基本方針

保育理念：

豊かに生きる力を育てる

保育目標：

思いやりのある子ども・自分で考える子ども・元気でたくましい子ども・明るくのびのびした子ども

保育方針：

①子どもの安全と安心を基本として、自ら伸びる力を大切に、成長と個性に応じた多様性のある保育をする

②子どもの目線で、豊かな愛情をもって、一人ひとりの気持ちをしっかり受け止め、その主体的な活動を育む

③子どもを中心に据え、家庭や地域との信頼関係を築き、環境を通して、人や物との関わりを大切にする

④施設・事業所の特徴的な取組

乳幼児期は心身の発育・発達が著しく、子どもの成長において非常に大切な時期であり、子どもたちは周りの大人や友達との関わり・触れ合いを通じて、いろいろなことに気づき、学び、成長し、世界を広げていきます。

私たちは心と体の成長の基礎を養うこの大切な時期に、大切なお子さまをお預かりする責任を重く受け止め、未来を担うお子さまが豊かに生きる力を身につけることができるよう、お子さまに寄り添いながら、お子さま一人ひとりに応じた成長のサポートをしたいと考えております。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年7月17日（契約日） ～ 令和3年3月22日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初回（ 年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1)食への関心を深めて楽しむ保育の実施

調理室は廊下の中ほどに位置してガラス張りになっているため、子ども達が自由に調理の様子を見ることができて、食材や調理への興味を深めています。また、調理員もガラス越しに子どもたちの姿を見守っており、外部委託の調理室との連携が取れています。幼児クラスは自作のランチョンマットを使い、時にはブランターで育てた食材を給食に使用したり、メニューを楽しんでいます。活動時間と食事時間とのバランスを考慮して、食事は強制されるものではなく、節度を守った中で楽しむものであることを大切に保育を行っています。

2)限られた保育環境の中での充実した保育

園はビル内の1フロアで、保育室は乳児用と幼児用の2部屋のみですが、限られた保育環境の中で、玩具を自由に取り出せる棚や間仕切り、サークルを設置して、年齢別の保育の実施や、落ち着くスペースを確保するなどの工夫を行っています。発表会の準備等で保育室内を広く活用したい場合は、他のクラスはビルの一角にある人工芝の園庭や散歩に行くなど担任間で調整を行い、園児に不便さや我慢を強いることなく、限られたスペースを活用しています。

3)園長のリーダーシップによる職員と共に進める改善

今年度から新たに就任した園長がリーダーシップを発揮して、保育内容・環境についての改善に取り組んでいます。全職員から聞き取りを行い、問題点と改善方法について自由に意見交換ができる雰囲気作りに努め、職員自らが成長できるように見守っています。園長は、聞き取りした内容を基に、運営管理面での改善にも努めており、記録や議事録等の管理の一元化や、情報共有の方法、職員参画の運営計画策定など、より良い保育に繋がることを積極的に取り入れています。

◇改善を求められる点

1)園としての中・長期計画の策定

法人全体としての中期経営計画の策定にとどまっており、保育に関する内容にブレイクダウンし、園長及び職員参画のもと、保育園としての進むべき方向を明確にした中・長

期計画を策定し、それに基づいた単年度の計画に繋げていくことが期待されます。

2) 地域との連携を深め地域の福祉ニーズに応えられる積極的な活動
地域貢献活動として保育園を拠点とした子育て広場等の実施に向けた取り組みについて、今後の具体的な活動計画の策定をし、法人・園が有する福祉サービスとして専門的な情報提供や取り組みを実施できるように関係者と情報交換していけることが期待されます。

⑦ 第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今年度第三者評価を受審するにあたり、自己評価シートを作成する過程において、職員の話し合いでマニュアルをあらためて見直したり、今までやってきた保育を振り返り、改善策や工夫を話し合うなど、開園3年目の園にとって良いきっかけになったと感じています。

また、スタッフ同士が同じ課題に対して取り組み、意見交換することで、相手を理解することにもつながり貴重な経験となりました。

コロナ禍で限られた中での訪問調査となってしまいましたが、評価調査員の方にはおはよう保育園花咲町の保育について細かく丁寧に聞き取っていただき、貴重なアドバイスをたくさんいただき感謝しております。今回の評価結果を真摯に受け止め、職員ひとり一人が保育の中で実践できることを確認しつつ、より良い保育を目指していきたいと思えます。

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止を第一に考え、昨年末から受け入れや引き渡しを玄関ホールで行うなど今までとは異なる方法で取り組んでまいりました。限られた中、制限も多く、手探りの状態で様々なことを進めていく中で、保護者のご協力を得ながら、子どもたちと楽しく1年間過ごせたことを職員一同、大変感謝しております。

最後になりますが、利用者アンケートにご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。

⑧ 第三者評価結果

別紙2のとおり